

「かんきょう」パンフレット

第76号 (社内環境情報紙)

2012年7月10日

青柳工業株式会社 環境会議 事務局

夏季電気需要の見通し

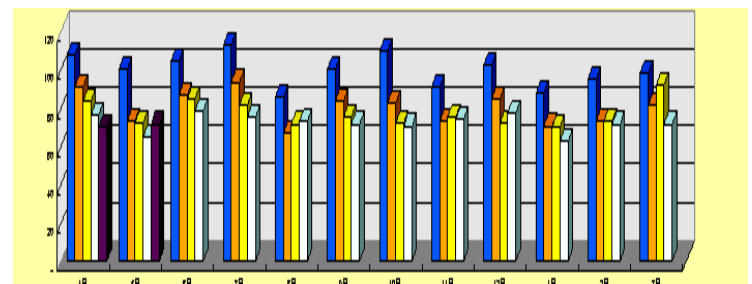
今年の夏、昨年のように、休日を切り替えるなどの対策がとられないのは電力量が充分だからではありません。ただし、電気の供給量に一定の目処がたち計画停電等の措置をとらなくとも、需要に答えられるといった状況ではあります。今年の需要見通しは、東京電力管内では、5,771万Kw/hと想定されているようですが、供給量が充分あるからといって、たくさん使ってもよいことにはなりませんし、電気料金も6月から値上りしています。無駄な電気使用を抑えて地球にも、お財布にもやさしい行動をお願いします。



資源エネルギー庁の標識

一般廃棄物の削減活動も継続しています

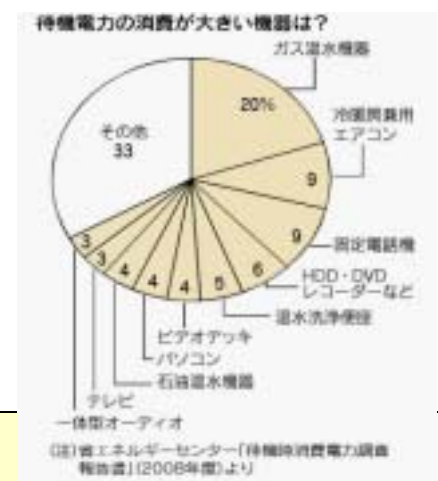
先日、ある方に「一般ゴミの減量はやめたのか？」と質問をいただきました。確かに本年度から環境目標の達成項目から、「一般ゴミの削減」をはずし、「紙のリサイクル量の増加」を廃棄物の目標にしました。昨年、KES監査時、監査員より、同じ目標を継続して実施していると、運動がマンネリ化する恐れがあると指摘されました。そこで、活動開始時より続けて来たこの目標を別な活動に変更しましたが、詩化しながら当初の一般廃棄物量は、1,600袋に達していて難問の一つでした。皆さんの協力によりエアキャップ再利用の推進などで、2008年(青で表示) 約1,300袋もあった廃棄物が、900袋まで低減できました。その後、包み紙や丸められた新聞紙などもリサイクル対象となり、2009年(橙)、2010年(黄)と着実に低減され2011年(白)では830袋と、環境活動を開始した時の半分のレベルに達しました。環境活動の中でも、成果をあげた事例となりました。今年も(茶で表示)引き続き廃棄物の総量低減のため、リサイクル量の拡大、再利用の増加など、さまざまな活動に取り組んでいます。今後ともご協力をお願いします。



5年間の廃棄物推移グラフ

今年の自己評価について

今年も定期自己評価実施します。実施日は、7月11日(水)午後1時30分より、環境実行委員と監査チーム(渡邊主任と深澤評価員)が評価を行います。今年のテーマは、環境記録がどのように管理されているかがメインとなります。すでに、環境マネジメントチェックリストが発行され、事前に公表されていますので、リストに従って監査を行います。この自己評価の結果は、本年8月に実施予定のKES更新審査の指標となるため、充分な議論が必要になります。



環境コラム 「家庭でできる節電対策」

この夏、電気料金値上げが、家庭を直撃しますが、何か節電対策を考えていますか。節電の決め手はなんといってもエアコンを上手に使うことだと思います。フィルターの掃除は節電効果があり、送風口を上向きにすることで、部屋全体を冷やす工夫をしたり、各家庭の実情にあわせて、対策を考えてください。扇風機や冷風機との併用が理想的なようです。照明もバカになりませんので、こまめな消灯、器具の交換などで対応していただきたいと思います。また、待機電力も重要な要素です。以前はテレビやオーディオが悪者扱いされましたが、電気ポット、電気炊飯器の保温状態が想像以上に電気を使うようです。携帯電話の充電も、最近の機種は充電時間が短くなっていますので、一晩中充電して置くことはかなり無駄です。上のグラフのように、ガス温水器も待機電力節約のため、使わない時は、こまめにスイッチをきる事が大切です。